

為替市場

	Open	High	Low	Close	Change
USD/TWD	31.520	31.673	31.520	31.590	+0.122 (+0.4%)
USD/JPY	154.62	155.79	154.55	155.59	+0.810 (+0.5%)
JPY/TWD	0.2043	0.2048	0.2027	0.2028	-0.0014 (-0.7%)
EUR/USD	1.1853	1.1875	1.1776	1.1790	-0.0060 (-0.5%)
USD/CNH	6.9613	6.9632	6.9380	6.9419	-0.0169 (-0.2%)

株式/商品市場

	Close	Change
台湾加権指数	31,624.03	-439.72 (-1.4%)
日経平均	52,655.18	-667.67 (-1.3%)
TOPIX	3,536.13	-30.19 (-0.8%)
上海総合	4,015.75	-102.20 (-2.5%)
DAX	24,797.52	+258.71 (+1.1%)

	Close	Change
ダウ平均	49,407.66	+515.19 (+1.1%)
S&P 500	6,976.44	+37.41 (+0.5%)
WTI	62.14	-3.07 (-4.7%)
Brent	66.30	-4.39 (-6.2%)
金	4,622.50	-91.40 (-1.9%)

債券市場

	2年債	5年債	10年債
台湾国債利回り	1.24% (+0.0bp)	1.33% (+0.0bp)	1.42% (-0.2bp)
日本国債利回り	1.26% (+3.0bp)	1.65% (-1.1bp)	2.23% (-1.4bp)
ドイツ国債利回り	2.09% (+2.7bp)	2.45% (+2.9bp)	2.87% (+2.2bp)
米国債利回り	3.57% (+4.3bp)	3.84% (+3.8bp)	4.28% (+3.6bp)

前日の市場動向

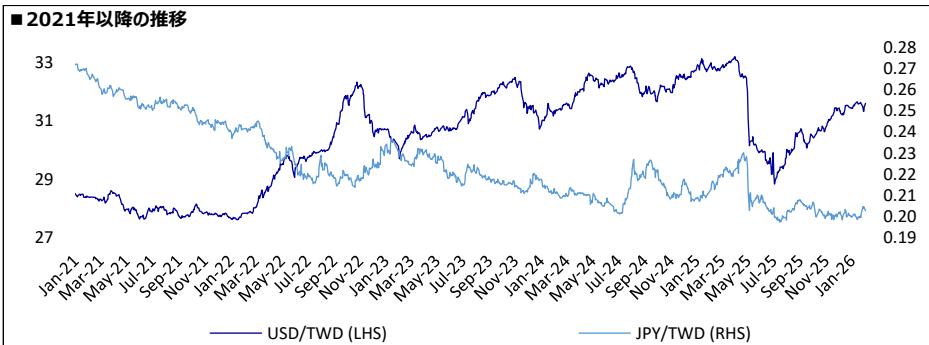
■USD/TWD

昨日のUSD/TWDは上昇展開。31.520でオープン後、米財務長官が強いドル政策を強調した事や、トランプ米大統領が次期FRB議長にウォーネン元理事を示した事を受け、USD/TWDは31.658まで上昇。午後には、海外投資家による株の売り越し及び資金の流出が進んだことで、USD/TWDは更に上昇し、一時31.673をつけた。終盤にかけては市場で過熱感に対する警戒が強まることで、徐々に高値から戻し、最終的に31.590、前日比0.39%高でクローズ。株式市場における外国人投資家の売り越し額481.18億台湾ドル。

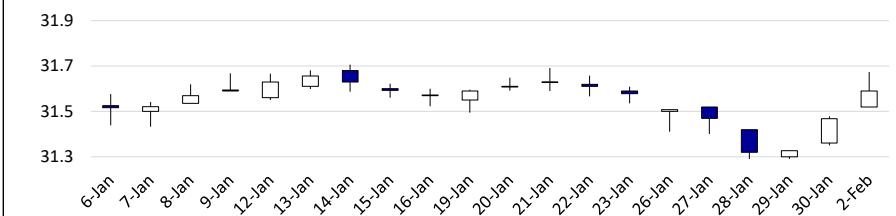
■USD/JPY

昨日のUSD/JPYは上昇展開。USD/JPYは154.62でオープning後、次期FRB議長にウォーネン元理事が示された事や高市総理大臣による円安容認とも取れる発言を受け、一時155.38を付けた。その後は155ちょうどを挟み、もみ合う展開となり、結局154.82で海外時間に渡った。海外時間には米1月ISM製造業景況指数が予想を上回った事が好感され、ドル買いが先行し、155.60付近まで上昇する底堅い推移。午後は米株の堅調な展開を背景に155.79まで上値を伸ばし、終盤にかけて小幅反落し、最終的に155.59、0.52%高でクローズ。

台湾ドルの推移



■直近20営業日のUSD/TWDの推移



本日の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：31.550-31.700

本日のUSD/TWDはレンジ推移を予想。米経済指標が予想を上回り、米金利の上昇を受けてドル買いが強まる可能性がある一方、株式市場の回復により、外国人投資家による大幅な売り越しと資金流出が一時停止し、台湾ドル買いを支える見通し。

■USD/JPY 予想レンジ：155.00-156.00

本日のUSD/JPYはレンジ推移を予想。今週末に日本の選挙開票や米雇用統計の公表を控えたことに加え、引き続き為替介入への警戒感が完全に払拭されていない状況を踏まえると、ドル円はレンジ推移が予想。

今週の予定

2/2 (MON)	米国・日本・台湾1月製造業PMI
2/3 (TUE)	米国12月求人労働異動調査
2/4 (WED)	米国/日本1月サービス業PMI
2/5 (THU)	米国新規失業金申請件数
2/6 (FRI)	米国1月雇用統計・米国2月ミシガン大学消費者マインド

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。